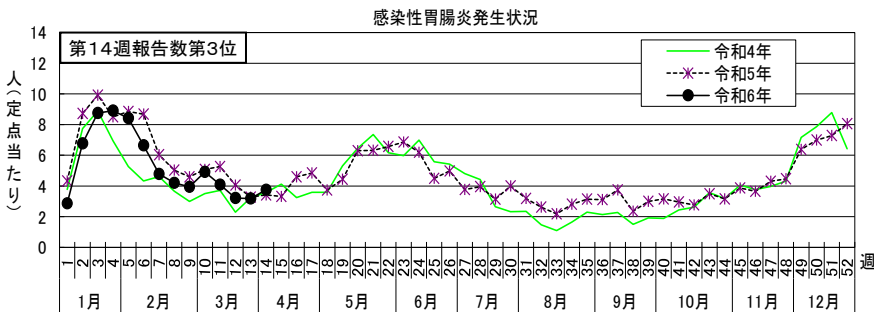
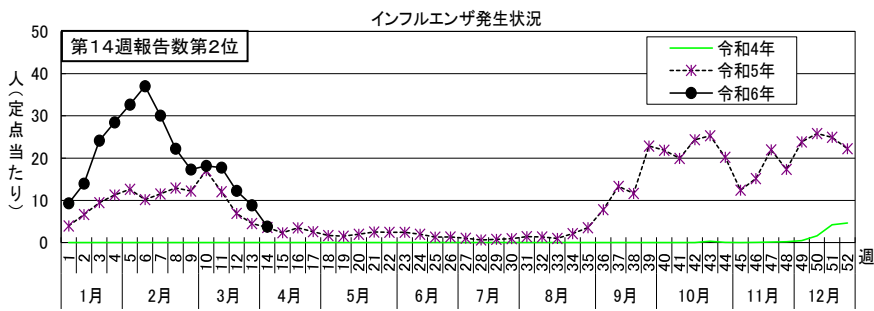
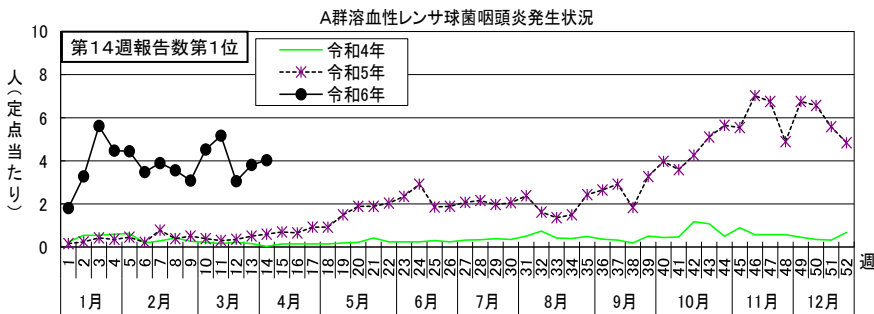


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年4月1日（月）～令和6年4月7日（日）〔令和6年第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2) インフルエンザ 3) 感染性胃腸炎でした。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.03人と前週（3.81人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.80人と前週（8.85人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.76人と前週（3.19人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



ワクチンで防ぐことができる感染症（VPD）とは？

VPDとは、ワクチンで防ぐことができる感染症の総称です。VPDには、定期予防接種の対象である「ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ」（4種混合ワクチン）、「麻しん（はしか）・風しん」（MRワクチン）等があります。特に、麻しんや風しん、ポリオについてはワクチンの有効性が高く、接種を完了することで、98～99%の方が感染を防ぐことができます。

国内では、令和6年4月から、4種混合ワクチンにHibワクチンが追加された5種混合ワクチンが定期接種に導入されましたが、従来のワクチンも、5種混合ワクチンも、接種を完了した場合の有効性は同等です。いずれも感染症の発症を防ぐとともに、感染症に伴う髄膜炎等の発症も予防できますので、接種対象者の方は母子健康手帳を確認の上、是非接種を御検討ください。

こんなにあります！～小児のVPDとワクチン～

- 定期予防接種**
- ✓ ロタウイルス感染症（ロタウイルスワクチン）
 - ✓ 肺炎球菌感染症（PCV15）
 - ✓ B型肝炎（B型肝炎ワクチン）
 - ✓ ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、Hib感染症（1期：DPT-IPV-Hib）（2期：DT）
 - ✓ 結核（BCGワクチン）
 - ✓ 麻しん・風しん（MRワクチン）
 - ✓ 水痘（水痘ワクチン）
 - ✓ 日本脳炎（日本脳炎ワクチン）
 - ✓ ヒトパピローマウイルス感染症（HPVワクチン）
- 任意予防接種**
- ✓ 季節性インフルエンザ（インフルエンザワクチン）
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症（新型コロナワクチン）
 - ✓ 流行性耳下腺炎（ムンプスワクチン）

5種混合ワクチンについて

対象者：接種日時時点で川崎市に住民登録がある、生後2月から生後90月に至るまでの間にある者*

*すでに4種混合ワクチン及びHibワクチンの接種を開始している場合は、原則4種混合ワクチン及びHibワクチンで接種を完了してください。

実施場所：市内の予防接種個別協力医療機関

接種費用：無料

標準的な接種スケジュール及び接種回数

初回接種：生後2月から生後7月に至るまでに開始し、4週間から8週間までの間隔において3回接種

追加接種：初回接種終了後6月から18月までの間隔において1回接種

※申請方法等の詳細は川崎市ホームページを御確認ください。